

<第三種郵便物認可>

慰安婦像撤去訴訟

【ロサンゼルス】中村将　米カリオルニア州グレンデール市に設置された「慰安婦」像の撤去を求め、在米日本人らの団体が市を提訴した問題で、像設置を決めた市議会は25日（日本時間26日）、原告側と争う姿勢を鮮明にした。市側はこれまで訴訟に対する態度を公式に表明していなかった。市議会公聴会で韓国系住民らの像設置の継続を求める意見を聞いた後、市議らが言及した。

(8面に関連記事)

公聴会には、韓国系のか、中国系や戦時補償などを求める一部日系人団体関係者らが詰めかけ、約80席の傍聴席をほぼ埋め尽くした。韓国系住民は「日本軍に強制的に慰安婦にされ、『セックス・レイブ（性奴隸）として』などと根拠のない主張を繰り返し、日本政府に謝罪を求めた。

関係者によると、韓国系

中韓系が反日包围網強める

グレンデール市争う姿勢



「3・11」痕跡

東京電力は26日、福島第一原発来月11日で3年を迎えることに対応の最前線となった1号機の運転室を報道各社に公開した（写真）。

団体は当初から公聴会で「在米の韓・中・日系の連合団体が歴史を知らせる共同対応に乗り出す」と計画していたといい、「反日包围網」を強く示すことで、市側をサポートする狙いがありそうだ。

一方、像設置に賛成した中国系団体関係者は「原告側は、像があることによって、日本人が『いぢら』『い』というが、そんな人間に慰安婦の気持ちが分かるわけがない」と批判。日系人男性も「戦争が始まり、収容所に入れられたが、後に米政府から謝罪とお金をもらつた。日本政府も慰安婦に謝罪し、償うべきだ」と語った。

フリードマン市議は、訴状に市が外交問題に踏み込んだという内容が記されていることに触れ、「外交問題ではなく、女性の人権問題」と反論。その上で「私は市議として原告と戦う。訴訟は取り消されるだろう」と言い切った。像設置には反対したウィーバー市長も「この件は市議会で一度採択されたものなので、なくなることはない」と述べた。



竹崎最高裁長官退官へ

最高裁の竹崎博允（ひろのぶ）長官（69）は、写真）が、健康上の理由から3月31日付で退官することになった。最高裁が明らかにした。竹崎長官は7月7日に定年の予定だった。歴代長官で定年を待たずに退官す